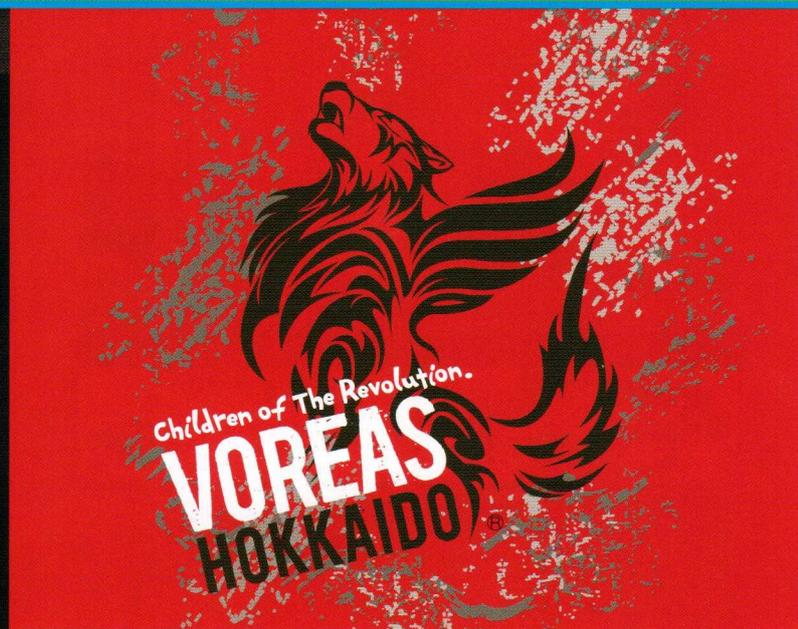
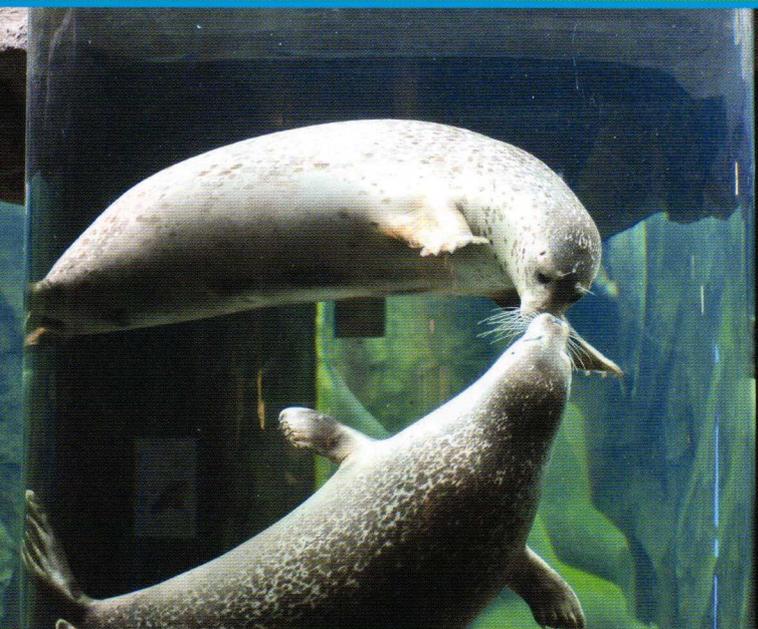


旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和2年5月19日
発信課	経済部旭山動物園
担当者	中瀬 泰広
連絡先	電 話 36-1104
	FAX 36-1406
	E-mail asahiyamazoo@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	イベント・行事 ■ 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	5月22日(金) 11時00分～11時15分
発表項目	旭山動物園への寄附に対する感謝状贈呈
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>次のとおり旭山動物園への寄附に対する感謝状贈呈を行いますので、取材及び報道方よろしくお願ひします。</p> <p>1 感謝状贈呈について</p> <p>(1)日 時 令和2年5月22日(金) 午前11時00分</p> <p>(2)場 所 旭川市役所秘書課第2応接室</p> <p>(3)寄附者 旭川信用金庫 理事長 原田 直彦(はらだ なおひこ)様</p> <p>(4)寄附額 1,170,000円</p> <p>(参考)平成20年度から平成30年度分までの動物園への寄附額累計 43,180,000円 今回を含む動物園への寄附額合計 44,570,000円</p> <p>(5)寄附の主旨 寄附者は、現在旭山動物園にいないゾウを呼びたいという趣旨で、旭山動物園オフィシャルサポーター商品として応援定期をを企画し、昨年度からは旭山動物園に加えてヴォレアス北海道の応援定期と合わせた形で企画したもので、預金者が預けた応援定期預金の残高に対し、0.002%相当、それぞれ1,390,000円分を、当金庫があさひやま“もっと夢基金”とヴォレアス北海道へ寄附してくださるものです。</p> <p>(6)出席者 旭川信用金庫理事長 原田 直彦 様 株式会社ヴォレアス代表取締役社長 池田 憲士郎 様 他。</p> <p>(7)その他 旭川信用金庫から本市とヴォレアス北海道双方に目録を手交し、本市から感謝状、ヴォレアス北海道からレプリカユニフォームを贈呈の予定です。</p> <p>お問い合わせ 旭山動物園 担当 中瀬 TEL 0166-36-1104 FAX 0166-36-1406</p>
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (有・無のいずれかを囲むこと。)
報道(取材)に当たってのお願い	
備 考	



旭山動物園

ヴォレアス北海道

応 援 定 期

毎年国内外から多くのお客さまが訪れる旭山動物園。旭山動物園の新施設建設や新しい動物の購入等に使われる「夢の基金」を応援します。お客さまにお預けいただいた応援定期の2020年3月末残高に対し、0.002%相当額を、当金庫があさひやま「もっと夢」基金へ寄附(1回)いたします。この応援定期は、旭山動物園公認のオフィシャルサポーター商品です。

ヴォレアス北海道は、旭川で唯一のプロスポーツ(バレーボール)チームです。東京オリンピックを控え、お客さまとともにプロスポーツチームの応援を行うことで、地元スポーツの振興に貢献してまいります。お客さまにお預けいただいた応援定期の2020年3月末残高に対し、0.002%相当額を、当金庫がヴォレアス北海道へ強化費として寄附(1回)いたします。

スーパー定期預金
1年もの

店頭表示利率 × **2倍**

- 取扱期間 / 2019年4月1日~2020年3月31日
- 対 象 / 個人の方
- 預入金額 / **ご新規: 10万円以上3,000万円以内**
※お一人さま1店舗のみ、総額3,000万円までご利用いただけます。
- 預金種類 / **スーパー定期預金1年**
(自動継続扱い、元加式または利払式)

※預入時の利率は初回満期日まで適用となります。満期後は一般のスーパー定期預金(当初預入時と同期間)として自動継続し、自動継続後の利率は継続日における金額・預入期間に応じた店頭表示利率が適用となります。

- 変更等 /
取扱期間中に金融情勢の変化等により、本定期預金の内容(当初預入時の利率の上乗せを含みます)を変更または取り扱いを中止することがございます。

税金、中途解約時の取り扱い、その他の内容は5ページの
[スーパー定期預金共通取扱内容]を必ずお読みください。

写真提供: 旭山動物園

2019年4月1日現在

さらに

Wチャレンジ!!
抽せん2回付

くわしくはコチラ➡

くわしくは、お近くの旭川信用金庫本支店窓口へお問い合わせください。

 旭川しんきん

旭川の
プロバレーボール
チームを応援

2016年10月にチーム創設。
翌年、Vリーグ3部に参入し、
2季連続の優勝を成し遂げる。
2019/20シーズンより
2部リーグに昇格。

ヴォレアス北海道について

1 チームについて

- ・ヴォレアス北海道のチーム名は、ギリシャ神話の北風の神の意味を表す「ボレアス」の頭文字BをバレーボールのVに置き換えて、「ヴォレアス北海道」とした。
バレーボールを通じて旭川・北海道の活性化を目的として活動する。(VリーグHPから)
- ・チームのコメント「北海道民に愛され、誇りとなるクラブチームになるため、お客様が心から楽しむことのできるホームゲームイベントの展開を図る」
- ・ホームタウンは旭川市。体育館所在地が鷹栖町総合体育館となっている。
- ・平成28年10月21日に(株)アイ・ディー・エフが母体となり、一般社団法人北海道バレーボールクラブ(運営母体)と、「ヴォレアス北海道」を設立。平成29年7月1日Vリーグ機構に準加盟チームとして加入。

<平成29年度>

- ・2017/18シーズンよりV・チャレンジリーグⅡ(3部)に参戦。
- ・ホームゲーム3回開催。15勝3敗でリーグ優勝するも、2部リーグには昇格できなかった。
- ・平成30年2月8日に「株式会社VOREAS, 一般社団法人北海道バレーボールクラブ, 公益財団法人旭川市体育協会及び旭川市との協力協定」を締結。鷹栖, 東川に続き3番目。

【協定内容】

- ・各種試合及び練習等に係る会場等の優先確保(市)
- ・各種試合及び練習等に係る会場及び備品使用料等の減免など(市)
- ・ヴォレアス北海道についての広報活動(市, 体育協会)
- ・各種事業への講師派遣, バレーボール教室の開催など, バレーボールを通じたスポーツ振興への協力(ヴォレアス北海道)
- ・Vリーグ公式試合及びエキシビジョンマッチ等の開催(ヴォレアス北海道)
- ・各種事業及びイベントの開催(ヴォレアス北海道)
- ・市及び体育協会のPR(ヴォレアス北海道)

<平成30年度>

- ・2018/19シーズンもV・チャレンジリーグⅡ(3部)に参戦。
- ・4月から10月まで, 大雪アリーナで毎週水曜日夜間に定期練習 →H30年度で終了
- ・Vフェスタ ファン交流イベント 5月19, 20日 総合体育館
- ・Vシアター エキシビジョンマッチ 8月18, 19日 大雪アリーナ
- ・キューバ女子チーム エキシビジョンマッチ 9月26日 大雪アリーナ
- ・ホームゲーム3回開催。18勝2敗でリーグ優勝。来季からV2リーグ(2部)に参戦。
- ・ホームゲーム開催に合わせ本庁に懸垂幕設置
- ・中学校部活動指導(永山, 北星, 神楽)
- ・ユニフォームへの「旭川市」の掲示
- ・(株)ヴォレアスの池田社長に依頼し, 旭川市スポーツ推進審議会の委員に就任(現在も)

<令和元年度>

- ・2019/20シーズンからV.LEAGUE DIVISION2 MEN（2部）に参戦。
- ・Vフェスタ ファン交流イベント 6月29日（土） 総合体育館
- ・Vシアター エキシビジョンマッチ 8月17日（土）、18日（日） 大雪アリーナ
- ※JCとのコラボ文化振興事業「ぶんか体験コレクション」への出展協力「パラスポーツ体験」
- ・ホームゲームは総合体育館で2回開催（11月2日・3日、1月25日・26日）
- ・ホームゲームに合わせて懸垂幕を掲揚した（昨年度製作した物の日付を張り替える）ほかヴォレアスと連携し、駅前広場や買物公園にのぼりを設置した。

2 令和2年度の予定

(1) Vフェスタ ファン交流イベント → 中止

- ・5月9日（土）、10日（日）

(2) Vシアター エキシビジョンマッチ → 中止

- ・8月15日（土）、16日（日）

(3) Vリーグ・ホームゲーム

- ・V1リーグへの昇格の可能性が不明だが、V1に上がるとリーグ期間が伸びるほか、観客席数の基準が3,000席となり総合体育館（約1,500席）では不足。
- ・ホームゲーム日程は、総合体育館を優先的に5日程押さえたものの、リーグ昇格が決まらなると日程を決定できない。（V1であればVリーグ機構の日程と3日程外れている）
- ・ホームゲームに合わせて懸垂幕を掲揚するほか、駅前広場や買物公園にのぼりを設置を継続。令和2年度予算（50万円）で新たに買物公園フラッグを掲揚する。

3 今後の課題

(1) V1昇格問題

リーグ終盤で新型コロナウイルスが感染拡大し、2月29日と3月1日の帯広大会が中止。その時点で2位（19戦1敗）であったが、Vリーグ機構の一方向的な決定で入替戦が中止、さらに昇格も認められないこととなったため、3月8日に日チームから機構に対し緊急要望書を1市3町の連名で提出。3月11日に回答あり。4月2日に再度要望書提出。

(2) 試合会場の確保

- ・利用調整会議の前（令和2年4月）にホームゲーム会場（総合体育館）を確保しているが、Vリーグ機構の発表が遅いため確実性に欠ける。新型コロナウイルスの関係で更に発表が遅れる可能性大。

(3) クラウドファンディング

- ・先述の帯広大会（ホームゲーム）の中止に伴い、甚大であった準備費用救済のためクラウドファンディングを設立。目標金額420万円に対し5月15日時点で396万円（94%）の支援。近日中に目標達成予定。主な返礼品はオリジナルTシャツやタオルなど。

(4) その他

- ・チームから、毎回大きな経済的負担になっている「移動式客席」「大型モニタ」の設置要望等があり、R2・1定代表質問で「検討する」との答弁を行った。→ 要検討
- ・中学校バレー部への指導を依頼する。
- ・現在教育委員会とコラボし、選手によるトレーニング動画配信中。
- ・その他、市各部局とのコラボ企画を検討する予定。